

【目次】

1. 企画展「松岡駒吉」は12月21日（金）に閉会します！
2. 労使研「野田労働争議史跡巡り」で友愛労働歴史館担当者がガイドを務める、12月6日！

1. 企画展「松岡駒吉」は12月21日（金）に閉会します！



友愛労働歴史館が開催中の企画展「松岡駒吉—ひとすじに労働者の利益を守った男—」（2018.7.6～12.21）は、12月21日（金）に閉会します。

松岡駒吉は総同盟（友愛会の後身。後の同盟、現在の連合）会長、全織同盟（現UAゼンセン）会長、衆議院議長などを務めた労働運動家で、「戦前のきわめて困難な時代にただ一筋に現実の労働者の利益を守るために、地道な努力をつづけてきた人物」（『松岡駒吉伝』）とされています。

2018年は松岡駒吉（1888.04.08～1958.08.14）の生誕130年・没後60年、そして松岡が主導した野田労働争議（千葉県野田市、現在のキッコーマン醤油で昭和2～3年に起きた労働争議）から90年に当たることから友愛労働歴史館は、今回、企画展「松岡駒吉」展を開催しました。

2. 労使研「野田労働争議史跡巡り」で友愛労働歴史館担当者がガイドを務める、12月6日！

友愛労働歴史館の兄弟組織である労使関係研究協会は12月6日（木）、千葉県野田市で「野田労働争議史跡とキッコーマンもの知りしょうゆ館」見学会を開催しました。



「野田労働争議史跡巡り」は、90年前に起きた野田労働争議（1927.9.15～1928.4.20）を偲ぶためのもので、友愛労働歴史館担当者がガイドを行いました。主な見学先は①野田市郷土博物館（茂木家寄贈の資産により作られた）、②野田市市民会館（旧茂木佐平治邸。争議団が押しかけ投石した）、③割烹レストラン「紫乃」（争議当時は旧「待月楼」旅館）、④和泉屋旅館（右翼団体が宿泊していた旅館。昭和2年12月21日に争議団が襲撃し、乱闘

事件に）、⑤総武物流本社（旧野田町駅近く。野田労働争議の発端となった丸三運送店があった場所）、⑥キッコーマンもの知りしょうゆ館（旧第17工場。大正14年竣工した最新の巨大工場。争議団がピケを張り、就労を阻止した場所）。なお、左上図は石井一彦著『ぼくたちの野田争議—忘れられた労働運動家・松岡駒吉と野田労働争議』（崙書房出版ふるさと文庫）より転載し、ガイドの参考にしました。



「人間の尊厳、進歩と発達のために」

発行：友愛労働歴史館

責任者：徳田 孝蔵

担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

Tel.050-3473-5325

Eメール yuairedorekishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuairedorekishikan.com>

惟一館から124年、友愛会から106年